

○ご出席、ご参加、ありがとうございます

先月開催させていただきました、中川正春第15回政策セミナー(於:四日市)および民主党チャリティゴルフコンペには、多くの皆様にご出席、ご参加、ご協力いただきました。ありがとうございます。

また、各地区で開催させていただいております国政報告会にも、多くの皆様にお集まりいただき、ありがとうございます。引き続き各所で開催させていただきます。詳細は鈴鹿事務所(電話:059-381-3513)までお問い合わせください。

○ミャンマーの総選挙

ミャンマーの総選挙は、アウンサン・スー・チーさんの NLD が大勝、民主化への道筋がさらに加速する展望がひらけました。私は、国会の「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」を中心に選挙監視団を組織してミャンマーに入りました。

戸籍や住民票が十分に管理できていないこと等から、選挙人名簿もあちこちで間違いがあったり抜けていたり、投票所の窓口対応は困難を極めました。事前投票では、軍に参加している兵士が地元に戻らずとも所属の軍組織を通じて投票することになっていたことから、軍が介入して現政権の USDP の為票の不正操作をしている等と幾つかの批判はありました。しかし、結果があまりにも大きな差として出てきたことから、選挙態勢の不備や不正は、国民の気持ちから吹っ飛んでしまった感があります。

朝6時から始まる投票に、長蛇の列を作って投票を待つ人々の、期待に満ちた顔。当日動員された学校の先生や地域のボランティア(主に女性達)が、混乱する投票所の切り盛りを、必死の面持ちで、実直に、そして誇らしげに、立ち働く様子。開票作業も世界各国からの監視団や各政党からの立会人を意識して、公正に運ばなければという思いに溢れているようで、私達もつられて、熱い高揚感に満たされました。民主主義の原点を見た気がします。「民主化への熱い思いを自分の一票にしっかり託していこう。」ということです。

この選挙の結果を実現するためにも、軍部が具体的な妥協をして、新政権にどこまでの協力を実現で

きるかがポイントです。また、少数民族との和平協議の進展と、彼らの主張である連邦国家制度への道筋をどこまで進めることができるかがもう一つの課題です。

今、中東では、混乱の中で民族対立、宗教対立が激化し、武力で抑え込もうとしたアメリカを中心とする西欧社会を敵対視して「テロ」という形で戦いを挑む最悪の構図が現実化しました。これを横目で見ていると、ミャンマーの場合は、軍事政権が自ら憲法制定を志し、完全とはいかないまでも、選挙によって、民主化に向かう口火を切ったことが混乱を回避することに繋がっています。あとは、この軍事政権の意向が最後まで本物かどうか、この見極めにかかっています。そのためにも、日本を含む国際社会の圧力が、これからのミャンマーの真の民主化にとって何よりも大事な要素だということを、私たちは、肝に銘じることだと思っています。

○年末年始の行事、お知らせください

早いもので、師走も半ば、年末年始は地区や職場など、お集まりになられることと思います。年末年始の行事をお知らせください。一年の終わりに、一年の始まりに、皆様のご意見をお聞かせいただくと幸いです。

○2016新春の集い

恒例の中川正春後援会の新春の集いを開催させていただきます。皆様お誘いあわせの上、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

□四日市 1月24日(日) 17:00～
四日市都ホテル 伊勢の間
会費 5,000円

□亀山 1月30日(土) 18:30～
あんぜん文化村
会費 4,000円

□鈴鹿 2月20日(土) 16:00～
コフエット 鈴鹿平安閣
会費 5,000円

詳細は別紙をご参照いただき、ご都合をお知らせくださいますようお願い申し上げます。

※楠・桜地区は例年同様2月中の開催を予定しております。

○来年は勝負の年

今年もあとわずかで終わろうとしています。

2015年の国会は、アベノミクスの真偽を問うことから始まり、憲法違反であるにもかかわらず安倍総理が強引に進めた安全保障関連法案の審議に明け暮れました。

参議院の選挙が7月に迫ってきている中で、主に二つの目標を立てて、戦うことだと思っています。

1. 政策の柱を中道リベラルの原点に戻って整理し、わかりやすくうたえます。

【安全保障】日本の未来に向けて平和国家を貫くことです。中国の覇権主義や北朝鮮のリスクに対しては、現在の周辺事態法、事態対処法や自衛隊法の体系とアメリカとの日米安保条約で基本的には十分対処できるのです。自衛隊が武力を行使するときの条件は、自国が攻撃された時に、それを排除する為のみの武力行使。専守防衛です。だから、海外派遣は、武力行使を前提にはしないことを、法律で縛る必要があります。まずは、今回の安倍政権の安保法を廃案にすること、そして、すでにある周辺事態法を整理し、それを基本にした対案を出していきます。

【経済】アベノミクスは、大企業の利益優先と株価を上げるためだけの見せかけの経済改革です。実際は消費が上向くことはなく、国内投資も横ばいです。国民の暮らしが豊かになり、国の中で資金がまわる経済政策で、国の潜在成長力を上げることが、本来の経済改革でなければなりません。結果が明日の株価を即上げることにならなくとも、20年、30年先に、あの時やった改革があったから真に豊かな日本があると実感できることが大事です。雇用が安定して、将来設計も描け、分厚い中間層が復権して、少子化も止まる。日本人が創り出す科学技術や文化が人類に新たな付加価値を増して、日本の富がそこから湧き出てくるような、そんな国柄を作ることを目標に、長期的な視野で人への投資と安心の社会に思い切った政策のシフトをすることです。

民主党は来夏の参院選で、他の分野についても、さらに具体的な政策をマニフェストにして、うたえていきます。

2. 野党勢力を結集し、自民党に対抗できる勢力を作ります。

維新の党、生活の党等との国会での統一会派結成、選挙区の候補者調整や最終的には、合併への道筋を実現します。それぞれの選挙区で野党が複数候補を立てて争い、票を割ってしまえば、自民党を利するだけだということが、これまでの結果です。だから、野党がまとまるのが大事だと、皆が腹を決めてかかっていることが肝心です。

安倍総理や自民党の、数の横暴とも言われる強引な政治に対して、私たち民主党が期待に応えることのできる野党勢力として未だ十分に力を発揮できず、自民党に代わるもう一つの選択肢に未だなり得ていないことが悔やまれます。しかし、ここで、もうひと踏ん張りです。「民主党しっかりしろ。」と、言っただけの声をうけて、来年も頑張ります。

○日本らしさ

来年は、日本の針路が大きく問われる年です。主要国サミットは三重県で開かれます。西欧社会に狂ったように挑戦してくるテロに対する対応と、減速気味の世界経済、エネルギーと環境などが主要テーマになると予想されます。超大国アメリカに寄り添い追従するだけではなく、日本なりの世界観を打ち出す時に来ていると思います。国民の中にある日本人の矜持を引き出し、世界に誇れる日本を目指して、来年も挑戦していきます。

○孫によせて

お陰様で6人目の孫が、授かりました。ここ数年は、かみさんも孫ラッシュで、私より孫優先の生活です。私たちの子供のころは、戦後の復興期、川でアユを追い、ウサギを飼い、駆逐水雷などという戦争の断片が残る遊びに興じた世代。孫の親の息子や娘たちは、テレビゲームに興じ、塾や習い事に忙しかった世代。さて、今、こうして生まれてきた孫たちに、どんな子供時代が待っているのか。彼らの親より、豊かで、多様な経験が詰める世界を作ってやりたいものです。

新しい年の、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。